

令和3年度事業報告

一般社団法人 日本基礎建設協会

政府は令和4年度の経済見通しと経済財政運営の基本的態度（令和4年1月17日閣議決定）において、次のような見解を公表しています。

令和3年度の我が国経済は、長引く新型コロナウイルス感染症の影響の下にあるが、令和3年9月末の緊急事態宣言及びまん延防止等重点措置の解除以降は、厳しい状況は徐々に緩和されており、このところ持ち直しの動きがみられます。ただし、オミクロン株を含めた新型コロナウイルス感染症による内外経済への影響、供給面での制約や原材料価格の動向による下振れリスクに十分注意するとともに、金融資本市場の変動等の影響を注視する必要があります。

こうした中、政府は、新型コロナウイルス感染症の拡大防止、「ウイズコロナ」下での社会経済活動の再開と次なる危機への備え、未来社会を切り拓く「新しい資本主義」の起動、防災・減災、国土強靱化の推進など安全・安心の確保を柱とする「コロナ克服・新時代開拓のための経済対策」（以下「経済対策」という。）を策定し、令和3年度補正予算を編成しました。新型コロナウイルス感染症に対しては、最近の感染拡大を含め、最悪の事態を想定した上で各種の対応に万全を期すとともに、「経済対策」を迅速かつ着実に実行することを通じて、足元の経済の下支えを図り、景気下振れリスクに対応し、感染拡大に際しても国民の暮らし、雇用や事業を守り抜き、経済の底割れを防ぎます。また、「新しい資本主義」を起動し、「成長と分配の好循環」を実現して、経済を自律的な成長軌道に乗せるとの方針が示されています。こうした下で、令和3年度の実質国内総生産（実質GDP）成長率は2.6%程度、名目国内総生産（名目GDP）成長率は1.7%程度となり、GDPは令和3年度中に感染拡大前の水準を回復することが見込まれる。また、消費者物価（総合）変化率は▲0.1%程度と見込まれます。

以上のような状況下における当協会の令和3年度決算状況ですが、当期経常増減額は長引く新型コロナウイルス感染症の影響下ではありますが、感染症防止対策に万全を期し、技術講習会や移行講習会を滞りなく実施することが出来たため、大きな増額となり、9,403千円のプラスとなりました。これにより、基本財産を11,000千円余増額しました。

また、協会の主要事業である「基礎施工士」検定試験については、平成28年度から「登録基礎ぐい工事試験」として国土交通大臣が登録した民間資格試験となったことにより、安定的に受験者数が推移しております。長引く新型コロナウイルス感染症の拡大による影響を受けておりましたが、感染防止対策を施して前年度より約30%増の236名の方に受験申込をしていただきました。なお、従来資格保有者の新資格への移行者については新型コロナ禍の特例として次年度に延期して移行講習会が実施され多くの方が受講されましたが、本年度で移行奨励期間が期限を迎え講習終了となりました。

このような状況下で令和3年度においては、当協会内に整備した技術委員会、広報委員会、安全委員会等各種委員会を中心に協会活動については、リモート会議等により実施され、当協会員の社会的地位の向上に努めました。

またその他、基礎工法の開発・普及という協会の設立目的に従い、「基礎施工士」試験制度を中心に基礎ぐい工事業界の向上発展を目指して、令和3年度事業計画に基づき、次のとおり、各種事業を実施しました。

1. 令和3年度「基礎施工士」検定試験（登録基礎ぐい工事試験）の実施について
（日本基礎建設協会、コンクリートパイル・ポール協会の共同開催）

本年度も、両協会関係者の指導及び支部会員各位の協力を得て、次のとおり実施しました。

試験地	開催年月日	申込者数	受験者数	合格者数
札幌	令和3年11月14日(日)	24	23	10
東京	同	250	236	95
名古屋	同	45	44	24
大阪	同	71	69	31
広島	同	22	20	9
福岡	同	53	51	19
合計		465名	443名	188名 (合格率42.4%)

試験対象工法は以下のとおりで、受験料は19,500円です。

○場所打ちコンクリート杭工法

- ・アースドリル工法
- ・オールケーシング工法
- ・リバース工法
- ・地中壁杭工法

○既製コンクリート杭工法

※「基礎施工士」検定試験は、平成28年6月1日の建設業法施行規則の改正により国土交通大臣の登録を受けた試験として名称が「登録基礎ぐい工事試験」となりました。なお、「登録基礎ぐい工事試験」合格者の称号は「基礎施工士」となっております。

うち日本基礎建設協会実施分

試験地	開催年月日	申込者数	受験者数	合格者数
札幌	令和3年11月14日(日)	0	0	0
東京	同	137	134	51
名古屋	同	28	27	15
大阪	同	41	39	16
広島	同	8	7	2
福岡	同	22	20	9
合計		236名	227名	93名 (合格率41.0%)

2. 令和3年度新資格移行試験の実施について（最終年度）

平成28年度から既存資格保有者が新資格へ移行を希望する場合は、移行試験を受ける必要がありますが試験問題の一部が免除されます。また、移行奨励期間として令和3年度（コロナ禍のため1年延期）までの5年間に限り受験料の割引を行っています。

移行試験は、通常試験と同会場で同時に実施しました。

試験地	開催年月日	申込者数	受験者数	合格者数
札幌	令和3年11月14日(日)	8	7	7
東京	同	193	191	181
名古屋	同	38	37	36
大阪	同	119	119	111
広島	同	31	31	27
福岡	同	34	34	32
合計		423名	419名	394名 (合格率 94.0%)

試験対象工法は以下のとおりですが、既存取得資格の種類により、○場所打ちコンクリート杭工法、○既製コンクリート杭工法のどちらかの試験問題が免除されます。

○場所打ちコンクリート杭工法

- ・アースドリル工法
- ・オールケーシング工法
- ・リバース工法
- ・地中壁杭工法

○既製コンクリート杭工法

うち日本基礎建設協会実施分

試験地	開催年月日	申込者数	受験者数	合格者数
札幌	令和3年11月14日(日)	2	1	1
東京	同	166	164	156
名古屋	同	30	29	28
大阪	同	103	103	96
広島	同	24	24	21
福岡	同	26	26	24
合計		351名	347名	326名 (合格率 93.9%)

3. 令和3年度「基礎施工士」の資格更新に関する講習会の開催について

「基礎施工士」検定試験規定第20条に定める資格の有効期限5カ年が満了となる者の資格更新にあたって、「基礎施工士」の知識及び技術の維持・向上を目的とした講習会を実施することとしていますが、前年度に続き今年度も新型コロナウイルス感染症の影響により感染拡大防止の観点から特例として更新講習会の受講に替えて通信教育型

(自宅学習ののち更新のための能力確認試験問題を解答して合格することを更新の要件)として実施しました。

実施時期

1) 更新案内公表	令和3年 4月 1日
2) 自宅学習資料及び試験問題の送付	令和3年 5月31日
3) 解答書の送付期限	令和3年 6月30日
4) 更新の合否通知	令和3年 7月26日

更新者数 560名

(注1) 平成24年度から本講習会は、下記5.の登録基礎工基幹技能者講習会と同時に実施していますが、今年度の講習会は新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から中止し、通信教育型として単独で実施しました。

4. 令和3年度「場所打ちコンクリート杭の施工」に関する技術講習会の開催について
 東京・大阪の両地区において、関係機関及び関東、関西両支部の会員各位の協力を得て「場所打ちコンクリート杭の施工」に関する技術講習会を開催しました。
 講習の内容は、特に現場施工管理面に重点をおき、監督者はじめ、設計・施工関係者並びに現場作業責任者を対象として、技術の向上を図ることを目的として開催しました。

開催地	開催年月日	受講者数
東京	令和3年7月 9日(金)・10日(土)	107
大阪	令和3年7月16日(金)・17日(土)	67
合計		174名

* 「既製コンクリート杭の施工管理」に関する技術講習会については、一般社団法人コンクリートパイル・ポール協会が8月22日(日)に東京でリモート会議等により開催しました。

5. 令和3年度「登録基礎工基幹技能者」講習事業の実施について

場所打ちコンクリート杭工事で総括職長として作業管理を担当する「登録基礎工基幹技能者」について、当協会は平成23年12月に全国基礎工事業団体連合会(全基連)とともに同講習の実施団体として国土交通大臣から認可を受け、平成24年度から登録基礎工基幹技能者を養成するための講習を実施しています。全基連と共同設置の同講習委員会のもと、当協会が令和3年度に実施した講習会の内容は次のとおりです。

(1) 「登録基礎工基幹技能者」講習会開催地等

開催地	開催年月日	受講者数
東京	令和3年6月 5日(土)・ 6日(日)	28
大阪	令和3年6月12日(土)・13日(日)	38

合 計	66名
-----	-----

(注) 上記3. の「基礎施工士」資格更新に関する講習会と例年同時に実施するが、今年度も新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から更新講習会が中止されたため、単独での開催となりました。

(2) 受講対象者： ・実務経験10年以上 ・職長経験3年以上
 ・「基礎施工士」等の資格所有者

(3) 受講・受験料： ・受講料 31,450円 ・受験料 5,250円
 計 (会員・非会員とも) 36,700円

6. 各委員会の活動について

常設委員会である経営・企画委員会をはじめ特別委員会の基礎施工士検定試験委員会等各委員会を通じて協会活動を、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点からリモート会議等により実施しました。

(1) 特別委員会

1) 基礎施工士検定試験委員会

上記1. の「基礎施工士」検定試験の問題作成、採点、合否判定について審議するため、3回の委員会を開催しました。

2) 杭基礎の品質等評価委員会

土木・建築構造物で極めて重要な杭基礎の品質の確保を図るために、平成21年11月に同委員会を設置して杭基礎の品質等評価事業を実施している。

今般、以下の評価の申込があったので、3回の委員会を開催して、既施工杭の不具合の要因への対応を踏まえた対策工（移設し新設杭を造成）の施工計画及び施工管理方法の妥当性について審議を行い、令和3年10月29日に評価書及び評価報告書の交付を行いました。

- ・評価件名 海老名駅改良工事
- ・評価内容 既施工杭の不具合を受けて新設杭の施工及び管理方法の妥当性の評価
- ・申込者 東急建設株式会社

(2) 常設委員会

1) 経営・企画委員会

令和4年度事業計画・予算、令和3年度決算見込等についての審議が行われました。

2) 広報委員会

令和4年3月、広報誌「Foundation」（12号）を発刊し、当協会の会員企業の活動を理解していただくため当該広報誌を幅広く関係者に配布することにより、当協会の活動の宣伝をしました。

また、技術講習会等各種講習会や、書籍の案内及び新「基礎施工士」検定試験の受験

案内、場所打ちコンクリート杭工法ビデオのホームページ掲載など協会のホームページを一層充実させた。

3) 安全委員会

基礎工事現場における労働安全衛生活動の重要性に鑑み、安全衛生に対する一層の意識の向上を図るため、以下のとおり前年に引き続き関東支部・関西支部において、安全研修会の開催及び安全パトロールを安全委員他関係者の協力により実施しました。

①安全研修会の開催

イ. 関東支部

- ・日 時 令和3年10月27日(水) 14:00～16:00
- ・場 所 鉄鋼会館(中央区)
- ・テ ー マ 「最近の建設・労働安全衛生情報と建設工事の安全衛生管理」
- 講 師 建設業労働災害防止協会 安全管理士 水野 健介 氏

ロ. 関西支部

- ・日 時 令和3年 9月10日(金) 14:00～16:00
- ・場 所 天満研修センター(大阪市)
- ・テ ー マ 「建設の安全管理体制について」
- 講 師 不二建設株式会社 安全管理部 専任部長 山本 和憲 氏

②安全パトロール

イ. 関東支部 年間で2回実施しました。

ロ. 関西支部 年間で1回実施しました。

4) 技術委員会

①(一社)日本建築学会 JASS4 改定委員会の小委員会と JASS4 改定 WG に前年度に引き続き参加しました。JASS4 改定版は、令和4年3月10日付第7版として発刊されました。また、令和4年3月3日に改定講習会が開催され、講師として「場所打ちコンクリート杭」の改定内容を説明しました。

②平成30年より開催された(公社)地盤工学会主催「新設杭に干渉する既存杭の撤去に関する研究委員会」に参加しました。今年度は最終年度とし、委員会成果として「既存杭の撤去・埋戻し方法とその影響を受ける新設杭の設計・施工」が発行される予定です。

③会員各社の令和元年度の場所打ちコンクリート杭施工実績調査を行いました。

イ. 会員各社の施工実績を纏めました。(調査期間平成31年4月～令和2年3月まで)

ロ. 調査票を纏めて報告書を作成し、各会員に配布しました。

④2020年度より新たに土木研究所との共同研究について、①「オールケーシング管理装置(NBKS)の高度化に伴うデータ解析及び地盤の評価方法の確立」と②「既設杭と新設杭の近接施工の影響による解析のための振動実験」を行う予定でしたが、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、再延期されました。

- ⑤オールケーシング管理装置(NBKS)のプログラムを改善しました。
- ⑥令和3年度建設基礎杭研究開発助成金の募集に対して、京都大学大学院工学研究科から応募(研究テーマ:ベントナイト系安定液の地盤浸潤時における泥膜形成メカニズムの解明)があったので、技術委員会WGにおいて一次選考(書面決議)が行われ、理事会において採択された。
- ⑦令和元年版「建築工事監理指針」の改訂に伴い、令和3年8月より土・地業分科会に参加し、4.5章 場所打ちコンクリート杭地業の執筆を担当しました。令和4年版「建築工事監理指針」の発刊は令和4年9月の予定です。

7. 建設機械施工検定委員会等委員の委嘱について

当協会の河野理事が、建設業法に基づき国土交通省に設置されている「建設機械施工技術検定委員会」の委員の委嘱を受けて、同技術検定に協力しています。

令和3年度建設機械施工技術検定委員会は、令和3年10月26日(火)にリモート会議により開催され

- (1) 令和3年度建設機械施工管理技術検定試験の合格者の決定について
- (2) 令和4年度建設機械施工管理技術検定試験の実施について
- (3) その他

の議題により審議がなされました。

8. 建設基礎杭(場所打ちコンクリート杭)研究開発助成金の採択について

平成元年7月に創設されました建設基礎杭研究開発助成金制度について、以下の応募があり、技術委員会の一次選考を経て、令和4年3月9日第4回理事会において採択され、同助成金の交付手続きを行いました。

- ・研究課題 ベントナイト系安定液の地盤浸潤時における泥膜形成メカニズムの解明
ー土粒子間隙スケールの可視化からー
- ・申請者 京都大学大学院工学研究科 木戸 隆之祐 助教
- ・交付決定額 500,000円
- ・対象期間 令和4年4月1日～令和5年3月31日

9. 国等からの各種通知の周知徹底について

建設業に関連した国等からの各種通知の周知徹底等に努めました。

10. 国土交通省幹部及び同省地方整備局長等幹部との意見交換会等について

- (1) 令和3年度国土交通省関東地方整備局と(一社)建設産業専門団体関東地区連合会との意見交換会が令和3年12月20日開催され、次の議題について専門工事業業界から要望を行うとともに意見交換をしました。当協会からは関東支部長が出席しました。

- 1) 週休二日の実施に伴う補正係数について
- 2) 生産性向上について
- 3) 揚重業の時間外規制への対応について 他

11. 会 議

(1) 総 会

第12回通常総会 令和3年 5月21日開催

(2) 理 事 会

令和3年度 第1回 令和3年 7月14日開催

令和3年度 第2回 令和3年 9月 8日開催

令和3年度 第3回 令和3年11月10日開催

令和3年度 第4回 令和4年 3月 9日開催

令和3年度 第5回 令和4年 4月20日開催

(特別委員会)

(3) 試験委員会

令和3年度 第1回 令和3年 6月17日開催

令和3年度 第2回 令和3年 9月15日開催

令和3年度 第3回 令和3年12月 2日開催

(4) 杭基礎の品質等評価委員会

令和3年度 第1回 令和3年 7月 7日開催

令和3年度 第2回 令和3年 8月30日開催

令和3年度 第3回 令和3年10月26日開催

(常設委員会)

(5) 経営・企画委員会

令和3年度 第1回 令和4年 2月25日開催

(6) 登録基礎工基幹技能者講習委員会 (日基協)

令和3年度 第1回 令和3年 7月 2日開催

(7) 技術委員会

令和3年度 第1回 令和3年 5月12日開催

令和3年度 第2回 令和3年 6月30日開催

令和3年度 第3回 令和3年 9月29日開催

令和3年度 第4回 令和3年12月21日開催

(8) 広報委員会

令和3年度 第1回 令和3年 4月22日開催

令和3年度 第2回 令和3年 6月16日開催

令和3年度 第3回 令和3年10月21日開催

令和3年度 第4回 令和3年12月14日開催

令和3年度 第5回 令和4年 1月17日開催

(9) 安全委員会

令和3年度 第1回	令和3年 7月 5日開催
令和3年度 第2回	令和3年10月 4日開催
令和3年度 第3回	令和4年 1月12日開催

(注) 総会、理事会、各委員会の会議内容等詳細については事務局にお問い合わせ下さい。